キャラクター名
アルフレッド・F・ジョーンズ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス サラマンダー	ワークス	高校生	カヴァー	高校生(喫茶店手伝い)
オプショナル		年齢	16	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	32 %
出自	双子	経験	逃走	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	3			7
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	35
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	3		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウェポン	白兵	7r+4	3	15(LV+12)		侵蝕値5　②で作成　西洋剣(クレイモア)
インテンスフレイム	白兵	11r+4	3	24		侵蝕値8　②で作成後、①+③+⑤　HP-3点
バーニンググブレード	白兵	11r+4	3	34		侵蝕値10　②で作成後、①+③+⑤+⑥　HP-3点
イクスプロージョン	白兵	11r+4	3	37		侵蝕値15　②で作成後、①+③+⑤+⑥+⑦　HP-3点

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
レザージャケット	7	2			

合計装甲：	2	合計回避：	0

所持品	
コネ：噂好きの友人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
マシュー・ウィリアムズ	P　庇護	N　恐怖		
アーサー・カークランド	P　信頼	N 劣等感		
キク・ホンダ	P　好意	N　脅威		
ギルベルト・バイルシュミット	P　友情	N 疎外感		
	P	N		
ナターリヤ・アルロフスカヤ	P 好奇心	N 不信感		
錬金術師	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー	―	―	―	―	
効果：C値-LV(下限値7)　<シンドローム>								
インフィニティウェポン	3	5	マイナー	至近	自身	自動	―	
効果：白兵戦用武器を製作。Dロイスにより攻撃力+5、侵蝕値+2								
炎神の怒り	3	3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ	―	―	―	―	
効果：ダイス+[LV+1]。HP-3点　【肉体】								
ヒール	2	2	メジャー	視界	単体	自動	―	
効果：対象HP[(LV)D+【精神】]点回復　<RC>								
灼熱の砦	3	3	メジャー	―	―	対決	―	
効果：攻撃力+[LV×3]　<シンドローム>								
炎の刃	5	2	メジャー	武器	―	自動	―	
効果：攻撃力+[LV×2]　<白兵><射撃>								
災厄の炎	1	5	メジャー	至近	範囲(選択)	対決	―	
効果：攻撃力+[LV×3]。攻撃対象「範囲(選択)」及び、射程「至近」に変更　<RC>								
無上厨師	1	―	メジャー	至近	―	自動	―	
効果：物質から料理を作り出す								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

モルフェウス/サラマンダー　クロスブリード
小学生の頃に弟を守るため能力に目覚めた少年。非常に好奇心が旺盛。力の制御が出来ず周囲を傷つけてしまっていたが、現在はとある喫茶店のマスターであるアーサーに力の制御方法を教わっている。双子の弟・マシューは一般人だが、彼のことを大切にしていて、誰よりも何よりも彼を優先する。また、二人揃って喫茶店で雇ってもらって下宿している。時折訪れる激しい破壊衝動にマシューを巻き込んでしまう可能性が今の彼にとって最大の苦痛。
制服を着崩し、カーディガンやリストバンドを付けるなど良くも悪くも今どきの子供。私服もラフなものが多い。
マシューとは双子の兄弟だが、苗字が違う。理由はアルフレッドのみが家を出された為、ウィリアムズを名乗れなくなったので自分で勝手につけた。本人は少し気にしているが、聞かれれば素直に理由を答える。
一人称/二人称　俺/君